

教育大綱（案）策定に係る意見聴取等について

◆教育大綱策定に係る有識者会議◆

開催日時：平成27年11月9日（月）19：00～21：00

出席者：有識者12名

増田市長，松村教育長，中宗教育次長，杉原課長，出口課長，廣瀬係長，
福永総務部長，矢野課長，細美係長，奥村

【意見（教育大綱文章修正あり）】

○基本目標Ⅰ-2 「乳幼児期の温かい親子のきずなで結ばれた家族との触れ合いを通じ」の表現について，家庭の事情がある子もいるので表現を検討されてはどうか。

○基本目標Ⅰ-2 貧困による教育格差について，負の連鎖を断ち切る支援を期待したい。

○基本目標Ⅰ-2 放課後の居場所づくりについて，「放課後子ども教室」という言葉だけ出すのはどうか。

○基本目標Ⅲ-1 「まちづくりを推進します」など，他の部分では教育を述べているのに，突然まちづくりの記述が出てくるので違和感がある。

○基本目標Ⅲ-2 中・高一貫校について，市長の政治的な施策や思いをもっとにじませても良いのでは。

【意見（教育大綱文章修正なし）】

○大綱期間の「必要な見直し」とは。

○基本理念に「住み続けたいまち三次」とあるので，教育面での住みやすいまちづくりを汲み取れるような文にしたらよいのでは。

○小・中一貫校について，小学校から中学校へ変わった意識や，けじめをつける方法を検討するべき。

○教師の異動等で，一貫性を持って継続的に行うことが難しいのでは。

○家庭も教育力の向上をしっかりとやらないと学校現場も困る。

○家庭教育や学校教育，地域教育などについて，行政が果たす役割，教育委員会が果たす役割分担をはっきり記述したほうが良い。

○家庭教育には、地域の力が必要。コミュニティスクールや、学校運営協議会などをモデル的に検討してみてもは。

○三次の教育の特徴をはっきりさせるべき、もっと出してほしい。

○特色ある教育として、クラブ活動を取り上げてみては。

○キャリア教育はとても良い取り組みである。もっと独自性を。

○特別な支援が必要な子どもたちへの教育について、独自性を入れてはどうか。

○4月からスポーツ課ができた。時には状況を聞かせて欲しい。

○三次市あるいは県北全体の文化財を教材化する必要がある。

○英語教育について、教員を海外に派遣する制度も必要。

○今後、有識者の意見を聞く場はないのか。

○教育委員会から教育委員への情報提供の際、情報の流し方のルール作りが必要では。

○定住人口について、高齢者の方に来てもらっても良い。「老後はここに住もうよ！」

というニュアンスも入れられたらよいのでは。

◆三次市議会全員協議会◆

日 時：平成27年11月24日（火）16：00～16：55

出席者：全議員

増田市長、高岡副市長、瀬崎副市長、松村教育長、中宗教育次長、
出口課長、福永部長、矢野課長

【意見（教育大綱文章修正なし）】

○基本目標Ⅲ-2 グローバル化する社会で活躍できる日本人、国の違いによる文化・習慣・考え方の異なりを理解して活躍するために、「日本の歴史を日本人としてしっかり学ぶ」という文言を一言加えて欲しい。

○基本目標Ⅰ-1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた子ども」のイメージを問う。